公益社団法人日本漫画家協会 中部ブロック

中部ブロック通信Vol.115

中部ブロックの皆様こんにちは。お変わりなくお過ごしでしょうか。

前回は、皆様にJCA通信271号に向けてのイラストのご提供を呼びかけさせていただきましたところ、貴重な作品をお寄せいただき、無事に協会編集部に原稿を提出することができました。
ご協力頂きました会員の皆様、本当に有難うございました。
イラストはJCA通信271号にも掲載される予定ですが、中部ブロック通信でも Vol.117でご紹介させていただきます。
いつも拙い中部ブロック通信をご高覧くださっている会員の皆様、本当に有難うございます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。
（鬼灯つばめ）



新国立美術館の会場でウノ先生に
ささささっとイラストを描いていただきました！
感謝しかありません！ウノ先生、有難うございます！

ウノ・カマキリ先生とお会いしてきました

10月14日水曜日、東京・六本木
国立新美術館で独立美術協会主催の
「第93回独立展」が開幕となりました。
私も毎年、初日に足を運んでおりますが、
ウノ・カマキリ先生も、同じ愛知県
三河地方出身で親交のある
斎藤吾朗先生の作品をご覧になるため
会場にお越しになります。
今回も短いお時間の中で、
漫画談義をさせていただきました。
ウノ・カマキリ先生、有難うございました。



独立展 斎藤吾朗先生作
200号絵画「糸を会わせて語ろう」の前で

知立市寄贈作品アート展

知立市文化会館（パティオ池鯉鮒（ちりゅう））で開催された
「寄贈作品アート展 ウノ・カマキリ」に行って参りました。



ウノ先生の作品は計21点の作品が
展示されており、
似顔絵、一コマ漫画、政治風刺など、
人間観察に長けたウノ先生ならではの
人物の表現や、工夫を凝らした作品が
並んでいました。
知立市文化会館の学芸員さんによる
作品選定の良さも感じられる展示でした。

場内でご覧になっていたお客様からも
「ユーモアがあるね」と言う声が聞かれ、
皆様がウノ先生の作品を楽しまれている
様子がうかがえました。

見る人を楽しませるサービス精神旺盛な
ウノ・カマキリ先生の作品から
漫画の在り方を学ばせていただきました。

漫画と漫画家 ウノ・カマキリ

漫画の原点は、一説では平安時代に描かれた
「鳥獣人物戯画」であるとされています。
独特なタッチで、様々な生き物がまるで人間のように
描かれた絵のことです。
「戯画」という言葉は“誇張表現”と“遊び”を加えた絵を意味し、
現在は「戯画」と類似したイタリア語の
「caricare（カリカチュア）」が誇張表現”と“遊び”を
加えた絵を示して使われています。
日本の“マンガ”や“アニメ”は世界的に高い評価を受け、
日本のポップカルチャーの代表格となっています。
漫画と聞くと大半の方が「コマ割り」によって描かれた
漫画（ストーリー漫画）を想像すると思います。
ウノ・カマキリ氏は、コマの概念を必要としないいわば
「一（ひと）コマ漫画」の制作に一貫して取り組み、カリカチュア、
メッセージ性の強いイラストレーションを多数世に
送り出だしてきました。また、時には可愛いキャラクターを
用いた絵本や漫画、アニメーションを手掛けるなど
表現の幅が広いことも魅力です。

（知立市文化会館発行の
知立市寄贈作品アート展 ウノ・カマキリ出品目録案内文より引用）

来場記念のマグネット
最終日に配られたそうです。





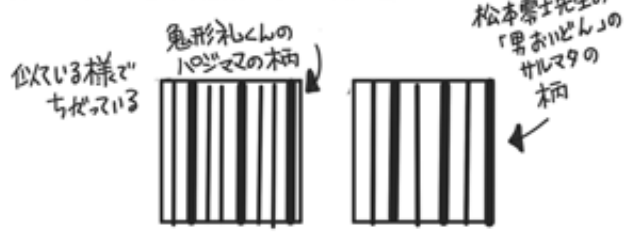


特別企画展　生誕90周年記念
「つのだじろうの なんでも描いてやろう!」

東京・六本木の国立新美術館を訪れる前に、
トキワ荘マンガミュージアムで開催中の
「つのだじろう なんでも描いてやろう!」展
に行って参りました。
つのだじろう先生の歩みが、先生の
執筆された原稿を通して、大変分かりやすく
展示されていました。
入場の際には4種類の絵柄のうち、どれか一つを
ランダムで配られる来場記念の
缶バッジを頂きました。

トキワ荘マンガミュージアムの館内では
一部写真撮影も可能で、
至る所につのだじろう先生の
キャラクターもお目見えしていました。

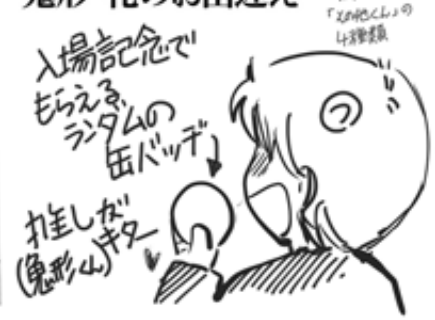
私が訪れた日は近隣の小学校から
社会科見学のため、
多くの児童が来館していました。



真夜中に届く恐怖新聞を
読む時は大抵パジャマ姿か
学生服の鬼形君。
いつもパジャマは縞々模様



展示会場入り口で 鬼形 礼のお出迎え





少年チャンピオンで連載されていた
「恐怖新聞」のポルターガイストと
主人公 鬼形 礼



トキワ荘マンガミュージアムの入館は
事前予約優先です。
館内では一部写真撮影可能ですが
撮影不可の場所も多いです。



トキワ荘でおくつろぎの
つのだじろう先生とルミちゃん

書籍紹介　「その他くん」　全4巻

つのだじろう著 講談社 KCコミックス

1976年から「週刊少年マガジン」に連載された作品で、勉強は苦手だけれど、
漫画家になりたい中学生・君輪園太（通称その他くん）が
漫画家を目指して成長していく姿を描いています。
昭和時代の真っ只中を背景に作者のつのだじろう先生をじめ、
当時の人気漫画家も実名で登場します。
今では漫画を描く環境こそ変われど、漫画を描くことの大切さと、
つのだじろう先生の漫画家を目指す後進に向けた愛情を感じられる作品です。
SNSではウノ・カマキリ先生も推薦されていました。
つのだじろう先生の大ファンで週刊少年マガジン連載当初から「その他くん」を
読んでいた私は、小学生の頃から漫画家になることが夢だった当時の自分の夢を
諦めた事を思い出しました。漫画家という世界は私には高嶺の花で
なりたくても現実は難しい事を作中で思い知らされたのでした。
漫画家の本質を厳しく丁寧に描かれた「その他くん」。
もし、「その他くん」が実在していたら、今では漫画家協会の役席の一人としても
活躍している素晴らしい漫画家になっているかもしれません。

少女漫画　∞ インフィニティ

萩尾望都×山岸涼子×大和和紀三人展

東京　国立新美術館で
初めての大規模少女漫画展が開催されます

10月28日(水)～2027年2月8日(月)
企画展示室2E

10:00～18:00（入場は17:30まで）
毎週火曜日休館
（祝日・振替休日の場合は翌平日休館）

国立新美術館では
12月13日まで
「ルーヴル美術館展
ルネッサンス」
も開催中です

美しきフェロニエールも
美しい日本の
少女漫画に嫉妬するかも？





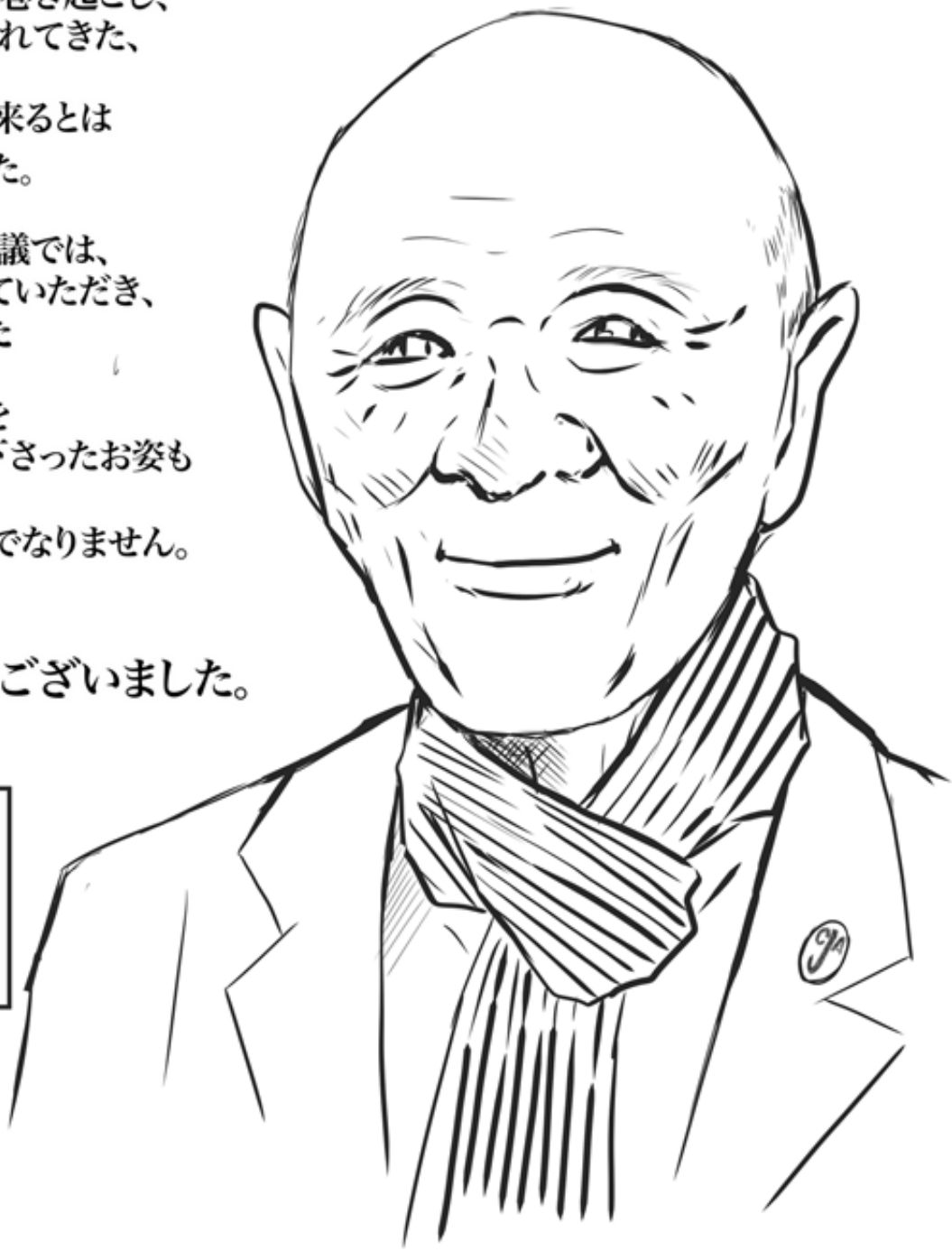
中部ブロック通信
発行令和8年10月30日　編集制作 鬼灯つばめ
感想・ご意見・苦情・投稿等諸んでお待ち申し上げます

当協会会長
ちばてつや先生のご逝去の報に接し、
心より哀悼の意を表しますとともに
謹んでご冥福をお祈りいたします

10月27日、ちばてつや先生が
同月22日に東京都内の病院で亡くなられたと
報じられました。漫画を通して、
さまざまな社会現象も巻き起こし、
多くの人に作品が愛されてきた、
ちばてつや先生。
まさか訃報を聞く日が来るとは
思いもよりませんでした。

本年のブロック長会議では、
お元気な姿を拝させていただき、
私が会議にお持ちした
「信州まんが協団」の
「信州まんがライフ」を
丁寧にお目をお通し下さったお姿も
忘れられません。
本当にご逝去が残念でなりません。

ちばてつや先生
本当にありがとうございました。



ちばてつや自伝
「屋根うらの絵本かき」
双葉社 刊行

お勧めの一冊です